

ほくぎひろは体験新聞

感想

分かったこと

高れい者体験で分かったこと

1. 高れい者は、階段を上り下りするの
も大変そう。
2. しんちょうに歩かないとすぐ車云びそう。
3. スロープがあると、歩きやすい。
4. 高れい者になると、あんなかんじになるんだと思いました。

高れい
者を手助
けする。

だから、
そのためにできること

感想

分かったこと

アイマス体験で分かったこと

1. 1人だと、歩くのがむずかしい。
2. こわい。
3. ブロック(点字)があると、目が見え
ない人には、使える。
4. ブロックがないときは、
ほうをつかわないと。

→ そのためにできること

あぶないときに、「あぶない
と」いったりする。
目が見えない人に、今いる
土場所、何があるかなど
を教える。

感想

分かったこと

車いす体験で分かったこと

1. 車いすは楽しいけど、さか道などは、
あぶない。
2. 自分1人でこぐと、手がいたくなる。
3. うしろにいる人がちゃんとしていな
いとあぶない。

→ そのためにできること

1人で車いすにのっている人
がいたら、うしろから、
車いすをおしたりする。
あぶないときにおさえ
る。こうは「ないよう」に。

「ほくきひろは」体馬金新聞

第1号

「老人体馬金」

- ・重たくはるからスローアに手をつかまて行重カる。
- ・重しをつけた場所所足首、膝、上は人ん、手首、肘、肩、胸、背、腰、股、膝、足、指、爪、つま先(耳)、ゴックル(目)
- ・目につけるゴックルは、色外変色して見え。
- ・手首、肘、膝、は、人んがいてるこてありさこえぬい。
- ・他の重しは、重たくて体からたれぬくはる。
- ・つま先は、たれぬくはる。



「車馬体馬金」

- ・車とりや、ているとたんさや板道か、おひげくはる。たから後うにもう1人の人んがハヤと分れた。
- ・たんさては、車いすの後ろについていさ悲しうスツアを強くおて前に進代と車いすか上る。
- ・たいやをまわすてすをはこんで、まうから補いついていさ黒い牛馬をまわす。

「しくしうかい者体馬金」

- ・ヤリ方は、まう物、目かく2のマスとそこにほくき、マッパシとしようかい、おひげくはる。たから後うにもう1人の人んがハヤと分れた。
- ・たんさては、車いすの後ろについていさ悲しうスツアを強くおて前に進代と車いすか上る。
- ・たいやをまわすてすをはこんで、まうから補いついていさ黒い牛馬をまわす。

「自分が下さること」
目のみえぬいれとを見つけたらとばかりについてたすける。

「自分が下さること」

車いすでたんさでてまわっている人んがいたら悲しうスツアをおてて手つたてあげろ。
自分もえんになつたらあのようにならはよう健康でいふことをハヤにけろ。



「感想」

ほくは、ほくきひろはに
体馬金に物て思ったことは、
老人のたははいういと
たいへんだと思ひました。
たのてほくは、でも車いす
は、涼しからたし、しくしう
かい者体馬金は、こわくて
目が見えぬいれにふたまた
するであつた。

人ん

「ほぎひうば」
ザ 体験
新聞

クイズ、ショータイム

1. 車いすの後はには ^{おし} 足が不自由な人がたんとこえるために ? と言うのが付いています。

それは何と言う名前でしょう。

答 ^{おし} 足 ^{おし} とい
ます。

1. 老人体験

・体の自由がきかない
で動きにくかったです。

・階段の時は落ちそうでした。
おもりを付けた所
足首、ひざ、重い服、手首、ひじ
耳が聞こえにくくなるもの

（色から化て見えるもの）
思ったこと

2. 車いす体験

自由に動かすことができませんでした。
足が動かないから、自分が
行きたい方にいきなかつたです。
・またすけがないと動かしな
かたです（返の所）
・自分でこぐと手が
いたくなりました。

老人体験では

のかがくかからで良かったです。
いつもこれを付けているようなもたか
らすごいなど思いました。目の不自由な

車いす体験では、
足がつかえないから手
ですて動かすのが
たいていと思
ました。

目の不自由な
人の体験では、
やはり目が見えない
のが一番大変なつで
こわいなと思ひました。

・目の不自由な
人差の時はこわ
かったです。

・（しじふ）ブロックがな
くなつた時は自分で
目印をさがさなければいけ
ないからたいへん。

5. 自分が
できるところ
これから老人の
方がいたら手助けを
しようと思ひます。
車いすの方がいたらこれも
手助けをしようと思ひます。
これも手
助けをしようと思ひます。